

櫻守の会

2023年7月号

2023年7月1日(通巻290号)
発行：櫻守の会代表 近藤 茂
〒665-0485 宝塚市栄町3-4-10-505
会員数 100名(6月25日現在)
HP：<https://www.sakuramori.net/>

第24回 櫻守の会の総会を終えて

代表 近藤 茂

第24回櫻守の会の総会を、今年は5月28日(日)に“ぶらざこむ1”の3階フリールーム(大会議室)で開催しました。最近の新入会員は仕事を持っている方が圧倒的に多いので、それらの方にも出席しやすくするために、今回初めて日曜日の開催としました。その結果、出席者数は昨年より2名多い30名になりました。改めて感謝申し上げます。

総会は定刻の13時30分に開始、議長に廣瀬氏を選出して審議に入り、各議案とも提案通り承認をいただいて15時に終了しました。10分間の休憩後、第2部の自由討議に入り、多くの皆さんより、健康に関する体験談、樹木名を覚えることの大切さや樹木ハンドブックに関する意見、道標被害に関する事など、日ごろから皆さんが思っていることや関心を持っていることなどをお聞きすることができて、有意義な会議であったと感じています。

総会の中で私は「現状毎年2~3名程度の会員の減少はあるものの、急激な会員減にはなっていない。現在最も心配していることは、運営委員や活動地幹事等の会のお世話係を引き受けてくださる方が少ないことである。近い将来これらのお世話係が不足して、それが理由で活動ができなくなってしまう可能性がある。」と申し上げました。昨年1年間に1回以上里山整備活動等に参加した68名の年齢構成をグラフ化してみると、70歳台の方が全体の5割、75~79歳までの方が3割も占めていることが判りました。個人差はあるでしょうが、75歳頃を境に体力が急激

に衰えて活動に参加できなくなる人が増える、と言われていました。今回運営委員を退任された4名の方はいずれも75歳前後の方で、運営委員を最低4年以上務めていただきました。しかしながら今回は3名しか補充できませんでした。また現在の活動地幹事は75歳前後の方が多数を占めています。従ってこの2年間のうちに活動地幹事の若返りを図っておかないと、活動日の作業計画を立てる人がいなくなって活動ができなくなってしまう可能性がある、と考えています。

会員の皆さんは、自己の趣味のため、又は健康管理・健康維持のために櫻守の会をおおいに利用してください。でも「少しでもお役に立つ活動をしてほしい」と思う方がおられましたら、是非お世話係を引き受けてくださるようお願い申し上げます。

毎年7名程度の新入会員があり、森林ボランティア団体としては多い方だと思います。しかしながら10年後を考えると、現在の活動を維持するにはもっと会員を増やさないとはいけませんが、なかなか難しいのが現実です。将来を見据えて、活動のあり方を少しずつ変えて行くことも必要であると思います。

***** 目次 *****

- P1 序文：第24回 櫻守の会の総会を終えて
- P2 2023年6月度活動実績表
- P2~5 活動報告：桜の園、青葉台、ゆずり葉の森、山手台、武庫山の森、廃線跡草刈
- P5~6 お知らせ・案内：運営委員会報告、諸業務担当、廃線跡草刈の案内、会員消息、武庫川エコハイク
- P6~8 櫻守ひろば：後輩に伝えたい櫻守の技術・技能(ノコギリの目立て・前編)、武庫山モリアオガエル
- P8 活動予定表

＜ 2023年6月度 活動実績表 ＞

月日	活動地・参加者 ()内は会員外	天候	作業内容	人数
5月20日 (土)	武庫山の森 17名	晴れ	(中央ルート) 堰堤付近の倒木処理、常緑樹の間伐、園路際のササ刈り	9
			(入口広場) 周辺の草刈り、光ガ丘口園路の岩安定化	8
5月22日 (月)	桜の園(亦楽山荘) 22名	晴れ	廃線跡草刈	22
5月24日 (水)	青葉台 16名	晴れ	(青葉台口、陽光広場) 草刈	6
			(行者山登山路) 枯れ松伐採	6
			(行者山登山路) 階段増設、路肩改修	4
5月26日 (金)	ぷらざこむ1 6名		会報6月号 印刷・発送	6
5月27日 (土)	ぷらざこむ1 8名		こむ1フェスティバル	8
5月28日 (日)	ぷらざこむ1 30名		第24回櫻守の会総会	30
5月29日	桜の園(亦楽山荘)	雨	雨天中止	-
6月1日 (木)	ゆずり葉の森 17名	曇り	(白瀬川広場～ゆずり葉広場、県宝谷平) 草刈	6
			(コバノミツバツツジの丘) 草刈	7
			(ゆずり葉ピーク) 階段横木の更新、階段の改修、園路脇の除伐	4
6月4日 (日)	武庫山の森 16名	晴れ	(武庫山ルート) 南ピーク周辺のササ、間伐	6
			(育苗地周辺) 育苗地、北側道沿い、北谷堰堤下流の草刈り	5
			(園路全体) 腐食した階段の付け替え、滑りやす場所へのプラ階段設置	5
6月8日 (木)	桜の園(亦楽山荘) 14名	曇り	(エントランス広場～桜坂) アオキの伐採、剪定	6
			(桜 坂) 草刈り	5
			(親水広場、桜坂) 階段ステップの補修、桜の種子収集用ブルーシート敷設	3
6月10日 (土)	ぷらざこむ1 8名		臨時運営委員会	8
6月14日 (水)	桜の園(亦楽山荘) 9名	曇り	(桜 坂) 草刈り	7
			(親水広場、桜坂) 階段ステップの補修、桜の種子収集	2
6月17日 (土)	武庫山の森 18名	晴れ	(武庫山ルート) 南ピーク周辺の間伐	8
			(道沿い) 北側道路と入り口付近フェンス際の草刈り	6
			(塩谷ルート) 腐食した階段の付け替え、常緑樹の間伐	4
参加者数				181

＜ 活 動 報 告 ＞

桜の園 (亦楽山荘)

6/8(木) 午前中曇り、昼頃から雨との天気予報だったため、移動に時間を要する赤松休憩所付近の枯れ松の伐採は止め、エントランス広場上辺のアオキの伐採と剪定と、桜坂下辺での刈払い機3台使った草刈に変更しました。草刈は次回以降も継続の予定です。また桜の園の桜を増やすため、桜坂の桜の下にブルーシートを敷き、桜の種子収集準備を行うとともに入口階段の腐食したステップの補修を行いました。



エントランス広場上斜面の
アオキの伐採と剪定



桜坂一段目を刈払い機で草刈

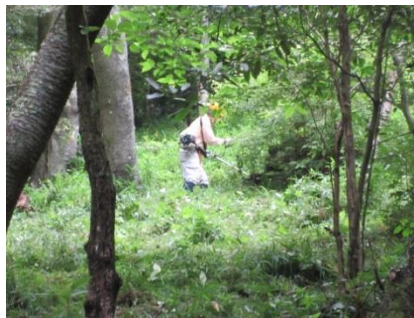


桜坂、大桜の下にブルーシート
を敷いて桜の種収集準備

6/14(水) 天気予報で午前中降水確率 50%と活動実施最低の条件だったためか、参加者が 9 名だったため、一班のみの作業とし、前回に引き続き桜坂での草刈を刈払い機 5 台使い、交代しながら行いました。急斜面と草の水滴によって滑り易く、数名が作業中に転げるなど手間取り、思ったほどは捗らなかった。上部約 1 段と少しは次回送りとしました。また前回敷設したブルーシートからサクランボ約 130 粒を採取しました。
(加賀野記)



桜坂中段部を刈払い機と鎌等も使って草刈



2面のブルーシートから
サクランボ約 130 粒を収集

青葉台

5/24(水) 朝から蒸し暑くなりましたが、時折吹く風に癒されながら作業しました。青葉台口や陽光広場では丈が 1m を超える草々が目立ち、草刈中心の作業となりましたが陽光広場の南約半分と展望台上面、急斜面が残ってしまい、次回も継続します。他には前回からの継続として、行者山登山路沿いで枯れ松の伐採と段差緩和のための階段増設と路肩の改修を行いました。
(加賀野記)



陽光広場石垣前、鎌で草刈



行者山登山路
伐採した枯れ松の処理



北逆瀬台、路肩の改修

ゆずり葉の森

6/1(木) 5/29(月)に近畿地方の梅雨入りが発表され、早くも夏近しの蒸し暑さの下、刈払い機3台を使って2か所(① ゆずり葉の森入口～立駐横～県宝谷平と② コバノミツバツツジの丘)で草刈を行いました。コバノミツバツツジの丘のツツジ及び樹木周辺等大きな範囲が次回以降の作業となりました。更にゆずり葉ピークでは、階段の腐食した横木の更新と改修および園路脇の除伐を行い、安全と展望の改善も進めました。(加賀野記)



県宝谷平で草刈、繁茂したイタドリの処理に手間取った。



ゆずり葉ピーク路階段の横木更新



コバノミツバツツジの丘
南北園路脇の笹等刈取り

山手台

会報原稿の締め切り日の関係で、今月度の報告はありません。
7月18日と8月15日の作業は午前中で終了とします。

武庫山の森

5/20(土)2回連続雨で中止のお陰で1カ月半ぶりの活動でした。草が伸び放題でしたので、入り口から広場周辺の草刈りをしてスッキリさせております。その他に園路に倒れ落ちそうな岩の移動、倒木処理、常緑樹の間伐、園路沿いのササ刈りをしました。

6/4(日)武庫山ルート南ピーク周辺で広範囲の間伐をしています。草刈りの継続で育苗地周辺と北側道沿いのを綺麗にしました。園路全体で腐食した木階段をプラ階段に付け替え、滑りやすい場所にプラ階段を設置しました。

6/17(土)ほぼ前回の継続で武庫山ルートの間伐、草刈りは道沿いのフェンス際を中心に外観を良くしました。塩谷ルートの腐食した木階段をプラ階段に付け替え、塩谷川沿いの常緑樹の間伐をしました。

7月15日から9月3日までの作業は午前中で終了いたします。(横山 記)



入口広場の草刈り



プラ階段の設置



コナラの間伐

廃線跡草刈

5/22(月) 今年の5月時と比べ、廃線跡塚市側入口周辺や展望広場、長尾山第一トンネル手前部で草の成長が控え目でしたが、桜ふれあい広場上面等では逆に背高く伸びていました。また平日にも拘わらず老若

男女の一般ハイカーなど多くの来園がありました。4作業区域毎に作業のボリュームに応じて人員と刈払い機等の道具を割り振って、来訪者が通る都度刈払い機を止めるなど安全には十分気を付けて作業しました。昼過ぎ頃からは作業区域毎の進捗状況を見ながら、必要戦力(人員や刈払い機等)の他区域への応援を行い、前回、前々回同様1時過ぎ頃に無事作業を終了しました。(加賀野 記)



リンボク広場で、
刈払い機と鎌で草刈



展望広場で刈払い機で草刈



長尾山第二トンネル手前部
手鎌などで草刈

< お知らせ・案内 >

運営委員会報告 (2023年6月臨時運営委員会)

代表 近藤 茂

2023年6月10日(土) 9:30~11:40 ぷらざこむ1

1. 諸業務の担当を決定した。次の記事を読んでください。
2. 環境体験学習支援・・・美座小より「植菌してからシイタケが出来るまで時間がかかるので、シイタケ植菌の学習を辞退したい」との連絡があった。その結果、環境体験学習支援は逆瀬台小の「秋の森の学校」と「冬のシイタケ植菌」の2学習になった。
3. 刈払機購入計画・・・草刈りを頻繁に実施する季節になっているので、刈払機が不足している活動地には早急に購入して補充することにした。また廃線跡の草刈りは、これまで借用機3台を含めて8台で作業を行ってきたが、会の所有機5台で効率的に行う方法について検討を行った。

2023年度 櫻守の会 諸業務の担当

運営委員会

5月28日の第24回櫻守の会総会、及び6月10日の臨時運営委員会で下記の通り決定しました。これまでは、活動地幹事以外のすべての業務を原則運営委員が担当することになっていましたが、運営委員でない一部の方にも業務を担当いただくようにしました。(氏名の敬称 略)

行政や他団体の窓口等、会員の皆さんに関係の少ない業務については掲載を省略しています。

1. 運営委員 市原、神野、近藤茂、坂田、清水、瀧本、丸山、横山 (計8名)
2. 会の四役 代表・・・近藤茂、 副代表・・・坂田、 会計・・・瀧本、 会計監査・・・加賀野
3. 活動地幹事 ※先頭の氏名の方が代表幹事です

桜の園 (亦楽山荘)	濱野、加賀野、坂田、清水、瀧本
山手台	岡、大形、岸本、近藤秀幸、瀧本、平松
ゆずり葉の森	加賀野、近藤茂、坂田、長谷川
青葉台	加賀野、近藤茂、坂田、長谷川、山岡
武庫山の森	横山、土井弘行、濱野、山下宏明、吉田
4. 用具担当 新入会員及び会員への道具・部品提供・・・山岡、 のこぎり目立て・・・上田威
5. 会報発行に関する業務

編集作業・・・市原、神野、近藤茂、坂田、清水、瀧本、丸山
メール会員への発送・・・近藤茂、 郵送会員への発送・・・瀧本、 宛名シールの作成・・・市原

- | | |
|--------------|--|
| 6. 保険関係 | スポーツ安全保険&行事保険（加入申し込み&事故対応）・・・瀧本 |
| 7. 廃線跡草刈り | 総括・・・清水 |
| 8. 研修会・講習会 | 刈払い機講習会・・・清水、チェーンソー講習会・・・近藤茂
新人技能研修会・・・清水、自然観察会・・・岡、山下康 |
| 9. 親睦会・イベント | 芋煮会・・・神野、環境パネル展・・・丸山 |
| 10. 環境体験学習支援 | 逆瀬台小・・・清水、神野、瀧本 |

廃線跡草刈のご案内

運営委員会

本年2回目の廃線跡草刈を、下記日程で昼食を挟んで午後13時半頃まで行います。前回同様に、8台の刈払い機を使い、4班体制で行います。今年は降雨が多く、草木の成長が活発であり作業量が多くなることも予想されます。弁当持参のうえ、多数のご参加をお願い致します。

日時：7月31日（月）9:50（親水広場集合）～13:30頃

なお、天候による作業の可否判断は、通常活動と同じです。雨天の予備日は8月4日（金）です。

会員動向

事務局

今月度は 入会・退会 共にありませんでした。

「武庫川エコハイク」7月度活動予定

エコグループ・武庫川

■ 第194回「縦断シリーズ ③ 藍本から広野」

2023年度は200回を迎える年で武庫川縦断シリーズとして源流から河口までを歩きます。

今回は武庫川が上流で大蛇行している藍本曲りから広野を歩きます。

◆約17km 健脚向きコース / 平坦な道ですが特に熱中症対策に注意ください。

日時：7月8日（土）雨天順延（雨天の場合は7月15日（土）に順延します。）

集合：JR福知山線「藍本駅」駅前広場 9時35分

※お問合せ：携帯090-7763-6763（上田） URL：<http://ecomukogawa.web.fc2.com/>

< 櫻 守 ひ ろ ば >

【後輩に伝えたい櫻守の技術・技能】 第4回

② ノコギリの目立て方法・・・前編

上田 威

鋸と剪定鋏は櫻守の会での使用頻度の高い道具です。鋸は刃物です。使う事により磨耗し、切れ味を保つには歯の目立てが必要になります。特にマイ鋸と大鋸が目立ての対象となります。会ではこの他に高枝切り鋸、竹切り鋸、小型鋸などを使用しますが、これらは使用頻度が低く目立ての対象外としています。

1. 鋸の目立て作業に用意するもの

- (1) ダイヤモンド目立て用ヤスリ 1本

（鋸の材料には硬度の高い合金が使用されており、鋸歯には超硬加工が施されています。

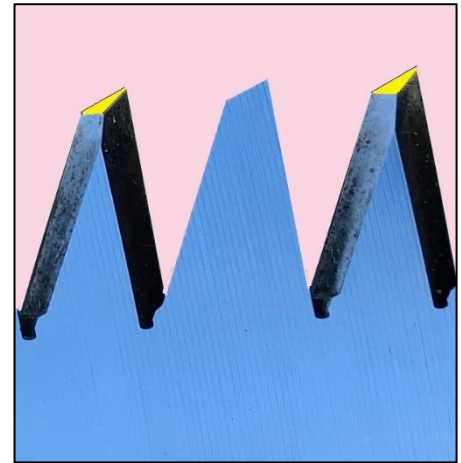
硬い材料の目立てに耐える硬いヤスリが必要です。）

- (2) 鋸刃固定用板（ヤスリガイド斜線入り） 2枚

- (3) 固定板締付け用クランプ 1個

- (4) マーカー用ペン 1個

- (5) 目立て状態の目視用ルーペ 1個



黄色の先端面（上目）のみを
ヤスリで研ぎます

2. 目立て手順

- (1) 目立てする刃を二枚の固定板に挟みクランプで固定。
 - (2) 各鋸歯の目立て面にマーカーペンで印をする。刃は3面ありますが、目立てするのは先端面（上目）の黄色の所のみです。
 - (3) 鋸刃の手元に近い部分からガイド線に沿ってヤスリで研ぐ。この時、研いだ面のマーカーの状態を見る事により、ヤスリの当り具合が確認出来る。
 - (4) 鋸歯の目立て角度は奇数歯と偶数歯で左右対称になっている。
全ての奇数歯の目立てを終え、鋸刃をクランプし直し、偶数歯を目立てする。
 - (5) 目立てする各歯の磨耗状態は、一般的傾向として先端部分が著しく、手元の部分に向かって少なくなっています（注1）。これに対処するため、手元から刃先に向かってヤスリを当てる回数を増やしている。（例えば、歯#1～#10 迄は10回、#11～#20 迄は20回、#21以降は30回）。
 - (6) 必要に応じてルーペで目立ての状態を確認します。
- （注1）一定期間使用した鋸刃にほぼ共通して見られる傾向です。これは鋸を使用する時、鋸刃の全長を使わずに主に刃先半分のみを使用している為と思われます。鋸刃の全長を使ってゆっくり切る様に心懸けてください。
（続きは来月号に）

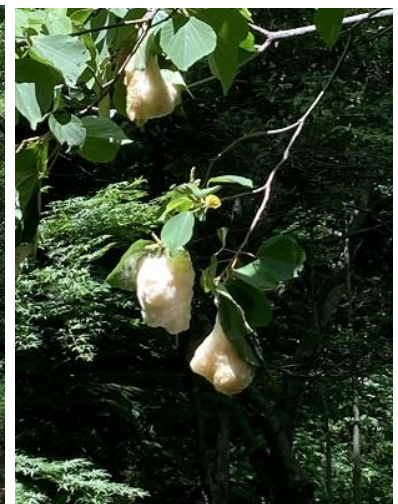
武庫山の森でモリアオガエルの産卵がピーク

ビオトープでモリアオガエルの卵塊が例年より多く見られております。今年は定期的に雨が降り、梅雨入りしてからの雨も多くビオトープは満水です。ここのビオトープは雨水の流れ込みが溜まったもので晴れが続くと涸れてしまいますので、会員が色々工夫を重ねて水が残るようにしました。モリアオガエルは兵庫県版レッドデータブックで B ランクに指定されている貴重な生物です。会報が届くころにはオタマジャクシになっていると思いますが、静かに見守ってください。



ビオトープ上の卵塊

武庫山の森幹事



モリアオガエルの卵塊

【モリアオガエル余談】

このビオトープの池には体長約 10cm のアカハライモリが一杯棲み着いています。上から孵化したオタマジャクシが落ちて来るのを待ち構えているのでしょうか。食物連鎖と言う自然の摂理といえども、大変残酷な話です。

6月17日、この池にオタマジャクシが生き残っているのか見に行きました。池には勿論多くのイモリがいましたが、オタマジャクシも非常に沢山泳いでいて、大きなものは3cm位に成長していました。イモリとオタマジャクシが共存していることを確認して、安心しました。

(この項 さくら守太郎 記)



体長 10cm 程のアカハライモリが一杯



モリアオガエルのオタマジャクシも一杯

< 活 動 予 定 表 >

月別行事予定表

7月		場 所 等	8月		場 所 等
7月 2日	日	武庫山の森	8月 2日	水	桜の園 (亦楽山荘)
7月 5日	水	桜の園 (亦楽山荘)	8月 4日	金	廃線跡草刈り・予備日
7月 10日	月	ゆずり葉の森	8月 6日	日	武庫山の森
7月 13日	木	桜の園 (亦楽山荘)	8月 8日	火	ゆずり葉の森
7月 15日	土	武庫山の森	8月 11日	金	桜の園 (亦楽山荘)
7月 18日	火	山手台	8月 15日	火	山手台
7月 23日	日	桜の園 (亦楽山荘)	8月 19日	土	武庫山の森
7月 26日	水	青葉台	8月 26日	土	会報印刷・運営委員会
7月 29日	土	会報印刷・運営委員会	8月 27日	日	桜の園 (亦楽山荘)
7月 31日	月	廃線跡草刈り	8月 31日	木	青葉台

集合時間：桜の園 (亦楽山荘) 親水広場 9時 50分、武庫山の森 9時 50分、他の3活動地は 9時 30分。
天 候：当日朝 6時 55分 NHK TV 天気予報で、兵庫県南部の午前・午後いずれかでも降水確率 60% 以上の時は中止します。

【編集後記】 コロナが 5 類に変更になり、多くの皆さんがマスクを外す場面が増えてきました。統計では新規感染者数が未だに増加傾向にあると言われてはいますが、弱毒化と治療薬が出来たことで、危機感は以前より薄らいできました。歴史的に見ても、日本でも海外でも過去に種々の感染症がまん延したことがありますが、いずれも数年の内に収まっています。もう少し辛抱して、乗り切りましょう。(近藤茂 記)